

お知らせ

令和2年10月6日

情報提供先： 島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

尾原ダムで「アオコ」および「淡水赤潮」が発生しました

【「アオコ」の原因種である藍藻類(ミクロキスティス)、
「淡水赤潮」の原因種である渦鞭毛藻(ケラチウムヒルンディネラ)を確認】

令和2年10月2日(金)10:00頃、尾原ダム湖の巡視中に湖面の一部(ダム湖上流の西尾大橋付近)において、水面が緑色および茶色に変色していることが確認されたため、採水し、顕微鏡により観察した結果、「アオコ」の原因種である藍藻類(ミクロキスティス)および「淡水赤潮」の原因種である渦鞭毛藻(ケラチウムヒルンディネラ)が確認されました。

なお、尾原ダム湖内および下流において、異臭、魚のへい死、取水への影響は確認されておりません。

今後も引き続き貯水池を巡視し、「アオコ」および「淡水赤潮」の状況を監視します。

また、「アオコ」および「淡水赤潮」について、状況の変化を確認した際には、下記のウェブサイトにて、情報提供していきますのでご覧ください。

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

ウェブサイトURL <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

※ 尾原ダムでは、平成26年9月に確認されて以降、ほぼ毎年同種による「アオコ」が発生しています。なお、毒性はありません。

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

(技術)副所長 平井 雅之
尾原ダム管理支所長 河口 幸広

電話 0853-21-1850 (出雲河川事務所 代表)

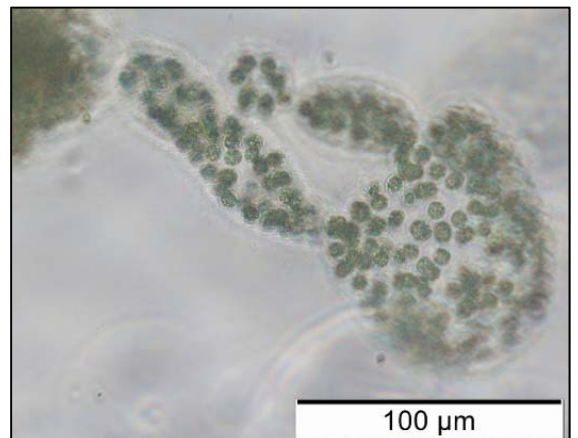
0854-48-0780 (尾原ダム管理支所)

尾原ダム 「アオコ」発生状況

日時 : 令和2年10月2日(金) 10:00頃
場所 : 尾原ダム湖内 西尾大橋付近



▲ 西尾大橋から下流側を望む

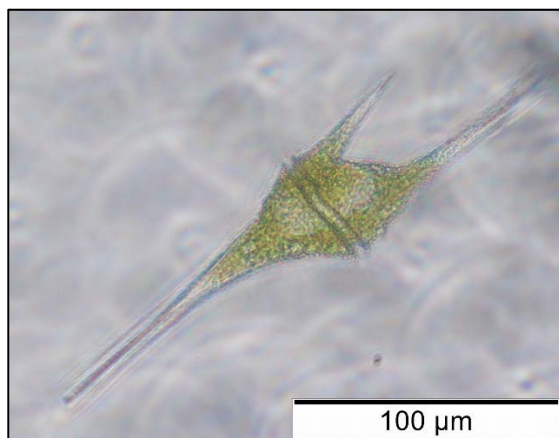


らんそうるい
藍藻類(ミクロステイス) ▶
※ 今回確認された顕微鏡写真

尾原ダム 「淡水赤潮」 発生状況

日時 : 令和2年10月2日(金) 10:00頃

場所 : 尾原ダム湖内 西尾大橋付近



▲ 西尾大橋から上流側を望む

うずべんもうそう

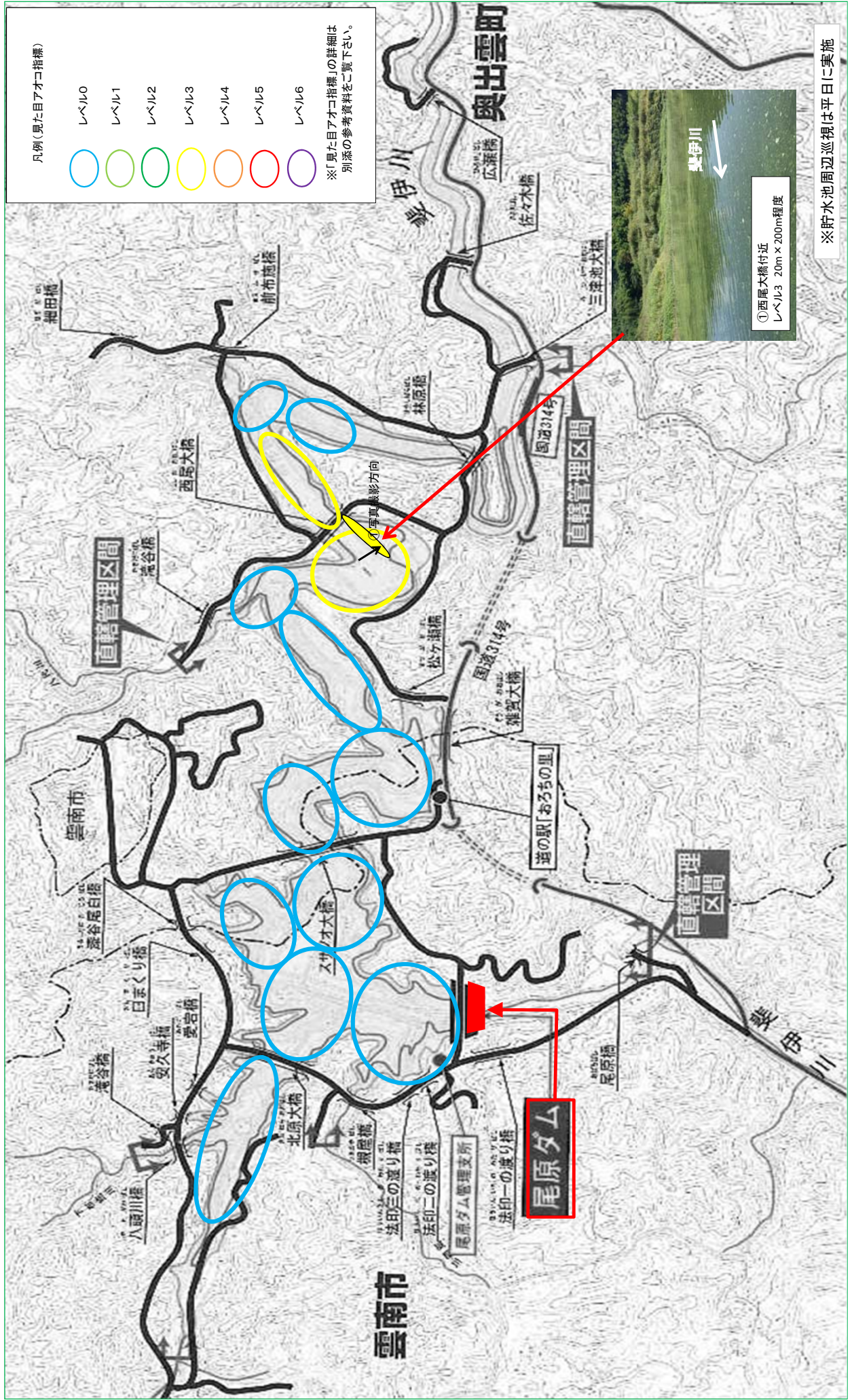
渦鞭毛藻(ケラチウムヒルンディネラ) ▶

※ 今回確認された顕微鏡写真

尾原ダム湖内「アオコ」発生状況

令和2年10月2日(金)

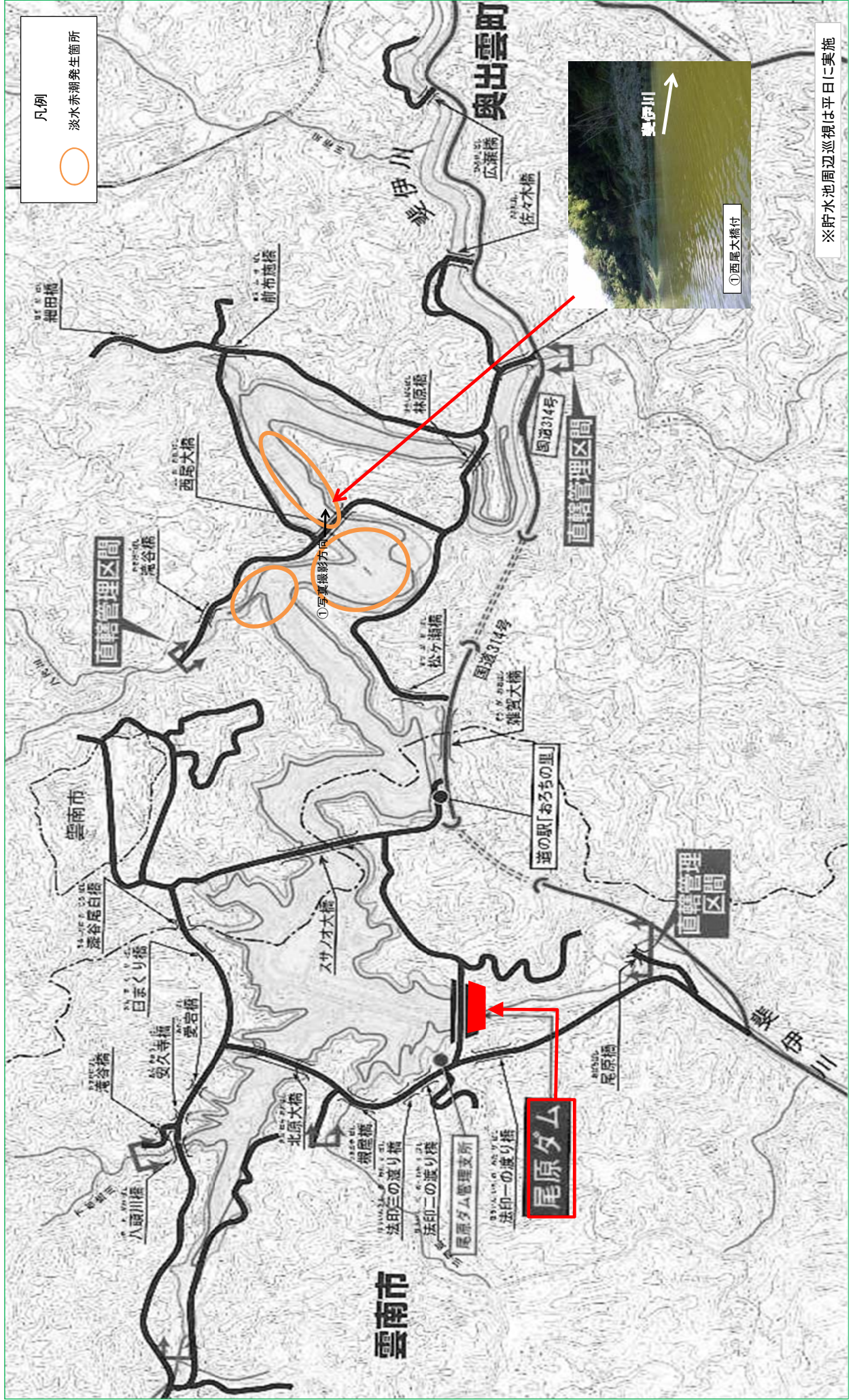
時刻 8:30~10:10



尾原ダム湖内「淡水赤潮」発生状況

令和2年10月2日(金)

時刻 8:30~10:10



	
<p>レベル0： アオコ発生は確かめられない。</p>	<p>レベル4： 膜状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル1： アオコ発生が肉眼では確認できない。 (ネットで引いたり、白いバットに汲んで良く見ると確認できる)</p>	<p>レベル5： 厚くマット状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル2： うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる。 (アオコがわずかに水面に散らばり肉眼で確認できる)</p>	<p>レベル6： アオコがスカム状(厚く堆積し、表面が白っぽくなったり、紫・青の縞模様になることもある)に湖面を覆い、腐敗臭がする。</p>
	<div data-bbox="863 1518 1289 1592" style="background-color: #92d050; padding: 5px; text-align: center;"> <p>見た目アオコ指標</p> </div> <p>湖内で一番集積量の多いところ、多い時間帯でその量を以上のようなレベルで分ける。</p> <div data-bbox="1011 1742 1374 1861" style="background-color: #add8e6; padding: 10px; text-align: center;"> <p>国立環境研究所 霞ヶ浦研究会</p> </div>
<p>レベル3： アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている。</p>	

出典：国立環境研究所「見た目アオコ指標」